

第5回 フレイル克服対策講演会 開催要領

1 目的

医療・介護・行政関係者等を対象に、フレイル克服プロジェクト事業について、事業実施による効果を広く普及し、県内のリハビリテーション医療体制の強化を図る。

今回は「高齢者の運動療法(DOPPO)」をテーマとして、県内の総合病院における内部障害リハビリテーションの現状と、高齢者の運動療法を行う際に意識すべき栄養の考え方についてご講演いたく。

2 主催

新潟県健康づくり財団(県委託事業)

3 開催日時

令和8年2月21日(土) 14時から15時45分

4 会場

新潟テルサ(新潟勤労者総合福祉センター) 2階特別会議室
(新潟市中央区鐘木 185-18)

5 参集者

リハビリテーション業務に携わる医師、理学療法士、作業療法士、看護師、栄養士、介護支援専門員、介護福祉士、行政関係者等

6 内容

あいさつ 座長 恒仁会 新潟南病院 統括顧問 和 泉 徹
(新潟県フレイル克服プロジェクトマネージャー)

(1) 講演1(14:00~14:40)

「県内病院におけるDPC データ解析からみたリハビリ資源活用」(仮題)

新潟大学大学院医歯学総合研究科 循環器内科学

地域連携のための内部障害リハビリテーション学講座

特任准教授 小幡裕明

(2) 講演2(14:50~15:30)

「栄養と理学療法について」(仮題)

新潟医療福祉大学 リハビリテーション学部

理学療法学科 准教授 井上達朗

(3) 質疑と総括(15:30~15:45)